



京都で感じる歴史 秋晴れのもと、寺社を巡る



北野天満宮では紅葉の鑑賞をした後、本殿に参拝し博物館にて刀などの特別展示を見学した。山本先生は「ここに土壘をしつかりと見てほしい」と土壘について熱く語られ、熱心に土壘の写真を撮影されていた。また青木校長先生は本殿で「毎年3年生の合格祈願に来ている。今年もしっかりと3年生が合格できるよう心を込めてお祈りする」と受験生のために参拝された。

その後各自で昼食をとり、嵐電に乗車して龍安寺へと向かった。龍安寺では枯山水などを鑑賞し、山本先生は「この枯山水はとてもシンプルで、ただ石と向かい合って対話することだけに集中することができる。これこそが禅道というところのある一つの到達点なのだと思う」と持論を述べられた。

次に向かった仁和寺で山本先生は塔について「もともと仏舎利（お釈迦様の骨）を収



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金龜町4番7号

11月23日、図書館ゼミフィールドワーク「錦織の京都へ」洛北から地歴公民科の山本茂雄先生が主催された。青木靖夫校長先生をはじめ数人の先生と生徒その他が多数参加した。京都の名所を北野天満宮、龍安寺、仁和寺、広陵寺の順に廻った。

めるために作られたもの。しかし時代が下るにつれてメイソンが仏像に取つて変わられて重要性が低下してしまった」と意外な事実を説明された。最後に訪れた広陵寺には国宝木造弥勒菩薩半跏像などの貴重な仏像が展示されている。

弥勒菩薩像の前で山本先生は「以前初めて弥勒菩薩像を見たときに『なんて美しい仏像だろう』と感じた。これをみんなに見て欲しかった」と生徒に明かされた。

終了後に青木校長先生は「秋の京都は込み合っているが、その隙間を縫つて素晴らしい旅ができた。本で知ることも大切だが、实物を見て芸術性を感じることもまた大切だと思う」と感想を話され、参加した生徒からは「初めて行くところばかりで面白かった」「普段は行かないような場所に行く良い機会だった」などの感想が挙がった。

